研究成果展開事業

研究成果最適展開支援プログラム

（A-STEP）

実装支援（返済型）

2023（令和5）年度　　課題提案書

**１　基本情報**

* **以降の本提案書中の例示・注釈文（ピンク文字）はe-Rad申請時には必ず削除してください。**
* **本提案書の下中央にある通し頁（－１－）は削除しないで、そのまま提出してください。**
* 採択された場合、開発課題名、開発実施企業名、開発課題概要、技術シーズを創出した研究者名及びその所属機関名等をWebサイト等で公開する予定です。

|  |  |
| --- | --- |
| 開発課題名〔英語表記〕 |  |
| 開発期間 | 20xx年●月●日 ～ 20xx年●月●日（●年●ヶ月）* 西暦で記載してください。
 |
| 開発費 | 総額：●●千円（直接経費：●●千円、間接経費：●●千円、再委託費：●●千円）* 本提案書「９　研究開発費執行計画」により合計額を算出の上、誤りの無いよう記載してください。
 |
| 課題提案者名（開発実施企業名） |  |
| 企業の代表者氏名（注1） | （フリガナ） |  |
| （漢字等） |  | 公印省略 |
| 開発管理責任者氏名（注2） | （フリガナ） |  |
| （漢字等） |  |
| 部署名・職名 |  |
| 連絡先 | 担当者氏名：部署名・職名：TEL：　　　　　　　　　　　　e-mail：　　　　　　　　　　 |

（注1）代表者の押印は不要です。

（注2）開発管理責任者とは、公募要領「2.6.4　開発管理責任者の要件」を全て満たす者を指します。

1. 開発遂行上のマネジメント等、当該開発の推進全般責任を負うこと。開発実施計画書の作成、各種申請及び報告等について責任を負うこと。
2. 開発実施企業に所属し、開発期間中、日本国内に居住すること。
3. 原則、開発実施企業の代表権を持つ者であること。
4. 研究倫理に関する教育プログラムを修了していること。

＜技術シーズ＞

* 技術シーズを最大3点まで記載してください。技術シーズが複数ある場合には、表を追加してください。なお、技術シーズが特許権又は特許（出願中）以外の知的財産権である場合には、記載可能な項目のみ記載してください。
* 以降、本提案書内で以下の知的財産権を引用する場合は、技術シーズ1、技術シーズ2、技術シーズ3、と引用してください。なお、技術シーズとは、公募要領「2.6.2　技術シーズの要件」における要件を全て満たすものを指します。
1. 大学等に所属する研究者の発明等に基づく知的財産権であること（大学等の職務発明と認定されたものに限る）。
2. 応募時点で実用性が検証されているもののいまだ企業化（製品化・サービス化等）されていない新技術であること。
3. 開発実施企業が利用する権利を有すること。

|  |
| --- |
| **技術シーズ１** |
| 知的財産権の種類 | * 以下のいずれかを選択してください。

例）特許権、特許（出願中）、著作権、その他 |
| 知的財産権の名称 |  |
| 国内出願番号 |  |
| 国内登録番号 |  |
| 国際出願番号と移行国（予定含） | * 特許権又は特許（出願中）の外国出願を行っている場合、PCT等の国際出願番号、公開番号、移行国・予定国を記載してください。

例）日本、米国、中国（予定） |
| 発明者（全員記載） |  |
| 出願人（全て記載） |  |
| 所有者（権利者）（全て記載） |  |
| 許諾等の状況（注） | * 本技術シーズを応募時点で利用可能であるか（見込みがあるか）、理由も含めて記載してください。

例）利用可能／理由：既に○○大学より実施許諾を受けているため。 |
| 技術シーズを基にした製品・サービスとの関係 | * 技術シーズを基にした製品・サービス（本開発成果を用いて最終的に目指す製品・サービス）と本技術シーズとの関係について10行程度で記載してください。
 |

（注）採択時までに、開発実施企業が技術シーズを利用する権利を有することを、別途、書面で示していただきます。

＜技術シーズを創出した研究者＞

* 技術シーズを創出した研究者のうち、大学等に所属する主要な研究者1名について記載してください。技術シーズが複数ある場合には、表を追加した上で、技術シーズそれぞれについて記載してください。
* 採択された場合、JSTのWebサイト等にて、技術シーズを創出した研究者名及びその所属機関名等を公表します。公表については、開発実施企業の責任において関係者の了承を得ていただきます。

|  |
| --- |
| **技術シーズ１** |
| 氏名 | （フリガナ） |  |
| （漢字等） |  |
| 所属機関名 |  |
| 部署名 |  |
| 職名 |  |

**２　本提案の内容**

* **本項目について、(1)の内容をe-Radの「研究目的」に、(2)の内容を「研究概要」欄にそのまま転記してください。なお、図表・画像は転記不要です。**

**(1)技術シーズを基にした製品・サービスの内容・特徴**

＜名称＞

* 技術シーズを基にした製品・サービス（本開発成果を用いて最終的に目指す製品・サービス）の名称を記載してください。

＜内容・特徴＞

* 技術シーズを基にした製品・サービス（本開発成果を用いて最終的に目指す製品・サービス）が求められる背景を説明した上で、その内容・特徴を500字程度で記載してください。必要に応じて図表・画像を使用してください。

**(2)本開発の内容**

* 具体的な本開発の内容について、500字程度で記載してください。必要に応じて図表・画像を使用してください。

**３　技術シーズ**

* 本項目は、主に選考の観点「a.技術シーズの新規性・優位性」に対応しています。

**(1)技術シーズの内容･特徴**

* 技術シーズについて、開発の背景、内容・特徴（新規性、問題点等）について、関連する知的財産権・論文等の内容を引用記載したり、必要に応じて図表・画像を用いたりしながら、詳細に説明してください。
* なお、引用した知的財産権・文献名等は本提案書「１３　関連文献リスト」に記載してください。

**(2)これまでに得られている開発成果**

* 本提案に関し、これまでに得られている研究開発成果について、どのような条件でどのような結果が得られているか等、図表・画像の実験データとともに定量的･具体的に記載してください。必要に応じて枠を増減させてください。
* また、本提案に関し、これまでの研究開発経緯･実績について記載してください。特に、技術シーズを得るに当たって使用した助成金等の実績を記載してください。

＜技術シーズに関連する助成金等の実績＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 制度名配分機関名実施期間（年度・西暦） | 課題名（実施者名）（代表、分担の別） | 技術シーズとの関連性 |
| ○○○○△△△20xx～20yy年度 | ○○○（△△　△△）（代表/分担） |  |
| ○○○○△△△20ww～20zz年度 | ○○○（△△　△△）（代表/分担） |  |

**(3)競合技術の概要及び比較**

* 本提案が属する技術分野の背景や開発動向、また本提案と競合する技術の開発動向について詳細に記載するとともに、競合技術と技術シーズを比較しつつ、技術シーズの優位性を示してください。その際、競合技術を示す知的財産権・論文の内容を引用記載しながら説明してください。
* 引用した知的財産権・文献名等は本提案書「１３　関連文献リスト」に記載してください。

**４　イノベーションインパクト**

* 本項目は、主に選考の観点「b.イノベーションインパクト」に対応しています。
* 技術シーズを基にした製品・サービス（本開発成果を用いて最終的に目指す製品・サービス）の何が革新的で、どのような社会変革をもたらすかを記載してください。なお、必要に応じて図表･画像を使用してください。

**５　研究開発の目標**

* 本項目は、主に選考の観点「c.研究開発の目標」に対応しています。

**(1)開発目標及びマイルストーン目標**

* 開発終了時の開発目標及び開発期間中に達成すべきマイルストーン目標を、技術的水準により設定してください。設定にあたっては、以下「開発目標及びマイルストーン目標の例」や注釈文を参照してください。
* マイルストーン目標は1つ設定してください。マイルストーン目標に基づき、マイルストーン評価を行います。その評価において、開発継続可と評価された場合（S, A, B評価）に限り、開発を継続し、開発費の残額を使用することができます。

＜開発目標＞

|  |  |
| --- | --- |
| 時期 | 開発終了時（20xx年△月） |
| 目標 |  |
| 根拠 | * 開発目標、目標に含まれる数値を設定した根拠を、技術的（性能的）、市場的、事業的観点を踏まえ、記載してください。
 |

＜マイルストーン目標＞

|  |  |
| --- | --- |
| 時期 | 20xx年△月 |
| 目標 |  |
| 根拠 | * 達成時期及びマイルストーン目標、目標に含まれる数値を設定した根拠を、技術的（性能的）、市場的、事業的観点を踏まえ、記載してください。
 |

開発目標及びマイルストーン目標の例

1. 本開発によるXXXX合金が、以下基準以上の強度を持つことが確認されること。

①破断伸びXXX （％）

②絞りXX （％）

③降伏応力XX (N / mm2)

④上降伏点XX (N / mm2)

⑤下降伏点XX (N / mm2)

1. 本開発による滅菌により、10-6以下の無菌性保証水準(Sterility Assurance level:SAL)を達成すること。
2. 本開発により製造された太陽電池において、モジュール温度摂氏XX 度時に、変換効率XX ％以上を達成すること。

　測定の方法について定められた規格、あるいは測定方法を細かく定める場合には、規格の内容や測定方法も合わせて示してください。

**(2)技術シーズを基にした製品・サービスへの本開発の貢献**

* 技術シーズを基にした製品・サービス（本開発成果を用いて最終的に目指す製品・サービス）に、本開発成果がどのように活かされるか、説明してください。必要に応じて図表・画像を使用してください。

**６　研究開発の計画**

* 本項目は、主に選考の観点「d.研究開発の計画」に対応しています。
* 本提案書「５　(1)開発目標及びマイルストーン目標」を達成するために必要な実施項目のタイトルを簡潔に記載してください。また、その具体的な内容を項目毎に記載してください。なお、問題点、解決策については、以下に留意して、記載してください。
* 問題点：各実施項目を行う上で障害となる問題点を抽出してください。
* 解決策：問題点に対する解決策（具体的な実施内容）を、当該解決策を選定した理由を含めて、具体的に記載してください。
* 倫理的・法的・社会的課題（ELSI）等、総合知による対応が必要な場合、その対応方法についても、具体的に記載してください。

**(1)実施項目**（タイトル）：（例）●●に係る検証

実施機関：○○株式会社

実施期間：20xx年○月～20yy年○月

問題点：○○○○…

解決策：○○○○…

達成目標：○○○○…

**(2)実施項目**（タイトル）：●●●●

実施機関：○○大学（再委託として）

実施期間：20xx年○月～20yy年○月

問題点：○○○○…

解決策：○○○○…

達成目標：○○○○…

**(3)実施項目**（タイトル）：●●●●

実施機関：○○株式会社

実施期間：20xx年○月～20yy年○月

問題点：○○○○…

解決策：○○○○…

達成目標：○○○○…

**(4)実施項目**（タイトル）：●●●●

実施機関：○○株式会社

実施期間：20xx年○月～20yy年○月

問題点：○○○○…

解決策：○○○○…

達成目標：○○○○…

＜実施項目数に応じて項目数を増減させてください＞

**７　研究開発の基盤**

* 本項目は、主に選考の観点「e.研究開発の基盤」に対応しています。

**(1)体制概要**

* 開発実施企業の全参加者、また必要に応じて再委託先・外注先・外部協力者（候補）を記載してください。必要に応じて枠を増減させてください。
* エフォートは、各人の全仕事時間を100％として、そのうち当該業務の実施に必要となる時間の配分割合（％）を記載してください。なお、「全仕事時間」とは研究開発活動の時間のみを指すのではなく、教育活動や管理業務等を含めた実質的な全仕事時間を指します。

**＜開発実施企業＞**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 担当 | 氏名 | 所属機関名部署・職名 | 専門学位（最終学歴）役割分担 | エフォート（％） |
| 開発管理責任者 | ●● ●● | ●●株式会社取締役CTO | ●●●● | ●●％ |
| 19XX年○月　～大学大学院～研究科 修了 |
| 開発課題全体の統括を担当 |
| 開発主担当者 | ■■ ■■ | ●●株式会社開発部部長 | ■■■■ | ■■％ |
| 19XX年○月　～大学大学院～研究科 修了 |
| 開発の統括を担当 |
| 開発参加者 | ◎◎ ◎◎ | ●●株式会社開発部主任 | ◎◎◎◎ | 100％（専任） |
| 19yy年○月　～大学大学院～研究科 修了 |
| 実施項目◎における～を担当 |
| 開発参加者 | ○○ ○○ | ●●株式会社開発部主任 | ○○○○ | ○○％ |
| 20XX年○月　～大学～学部 卒業 |
| 実施項目○における～を担当 |
| 計　●●名 |  |  |

**＜再委託先（候補）＞**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 担当 | 氏名 | 所属機関名部署名・職名 | 専門学位（最終学歴）役割分担 | エフォート（％） |
| 再委託参加者 | ▲▲ ▲▲ | ▲▲大学▲▲学部教授 | ▲▲▲▲ | ▲▲％ |
| 19XX年○月　～大学大学院～研究科 修了 |
| 実施項目△における～を担当 |

**＜外注先（候補）＞**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 担当 | 外注先の企業名 | 外注内容（予定） |
| 外注先 | 株式会社■■ | ■■試験の依頼 |

**＜外部協力者（候補）＞**

* 外部協力者とは、再委託先や外注先ではないものの、本開発で助言・指導を得る者です。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 担当 | 氏名 | 所属機関名部署名・職名 | 専門学位（最終学歴）役割分担 | エフォート（％） |
| 外部協力者 | ◎◎ ◎◎ | ◎◎大学◎◎学部教授 | ◎◎◎◎ | ◎◎％ |
| 19XX年○月　～大学大学院～研究科 修了 |
| 実施項目△に関わる助言・指導 |

**(2)開発実施体制図**

* 開発実施体制を図示してください（以下の記載は参考です）。その際、(1)の体制概要に記載した開発実施企業の全参加者及び全ての再委託先・外注先・外部協力者（候補）を含むように記載してください。

|  |
| --- |
| 開発実施企業（●●株式会社）○○○○開発参加者（□□担当）○○○○開発参加者（□□担当）○○○○開発参加者（□□担当）○○○○開発主担当者（□□担当）◇◇◇◇開発管理責任者 |

外注先（候補）

再委託先（候補）

▲▲大学

○○技術の確認

株式会社■■

●●試験の委託

**（3）主な参加者の略歴**

* 開発管理責任者、開発主担当者及び再委託参加者それぞれについて記載してください。必要に応じて表を追加してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | ○○　○○（開発管理責任者） |
| 生年月 | 19xx年00月 | 性別 | 男・女 |
| 本提案に関係する開発の経歴 |  |

**（4）開発実施場所**

* 実際に開発が行われる場所を記載してください。開発実施場所が複数ある場合には、表を追加してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 実施場所 | ●●株式会社　●●研究センター |
| 所在地 |  |
| 開発実施場所の責任者名 |  |

**（5）本開発を実施するために必要な設備等**

* 本開発を実施するために主に必要となる設備等のうち、主要な物の名称等を記載してください。必要に応じて枠を増減させてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 設備等の名称 | 当該設備等が必要な理由 | 利用状況（注） |
| ●● | ●●に必要なため。 |  |
| △△ | △△に必要なため。 |  |
| ×× | ××に必要なため。 |  |

（注）「利用状況」については、「既に所有」「（所有していない場合」◎◎より貸与を受けるため利用可能」「本制度の開発費で今後購入予定」等を記載してください。

**８　研究開発実施予定**

**＜開発実施予定表＞**

* 開発期間及び実施項目数に応じて欄を追加又は削除してください。
* マイルストーン（本提案書「５　(1)開発目標及びマイルストーン目標」を参照）と関係する実施項目の欄に、マイルストーン時期を「★」として記載してください。
* 各年度は4月始まりとしてください（第1期は4月-6月）。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 20xx年度（令和xx年度） | 20xx年度（令和xx年度） | 20xx年度（令和xx年度） | 20xx年度（令和xx年度） |
| 実施項目（「5 研究開発の計画」の「実施項目」タイトルを転記してください） | 第1期 | 第2期 | 第3期 | 第4期 | 第1期 | 第2期 | 第3期 | 第4期 | 第1期 | 第2期 | 第3期 | 第4期 | 第1期 | 第2期 | 第3期 | 第4期 |
| (1) | （例）●●に係る実証 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| (2) |  |  |  |  |  |  |  | ★ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| (3) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| (4) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

**９　研究開発費執行計画**

* 公募要領「3.3 開発費」を参照の上、記載してください。

**（1）開発費**

* 開発費とは直接経費、間接経費、再委託費の合計を指します。

（単位：千円）

|  |  |
| --- | --- |
|  | 合計 |
| 直接経費 | 0 |
| 間接経費 | 0 |
| 再委託費 | 0 |
| 直接経費・間接経費・再委託費の合計 | 0 |

**（2）開発費執行計画**

**＜年度毎＞**

* 開発期間に応じて欄を削除してください。

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度費目 | 20xx（令和xx） | 20xx（令和xx） | 20xx（令和xx） | 20xx（令和xx） | 合計 |
| Ⅰ物品費（注1） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅱ旅費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅲ人件費・謝金（注2） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅳその他（外注費）（注2） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅳその他（その他経費）（注3） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 直接経費(Ⅰ～Ⅳ)小計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 間接経費（注4）（間接経費率●●％） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 再委託費（注2） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 直接経費・間接経費・再委託費の合計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

（注1）「物品費」のうち、「設備備品費」における設備備品は取得価格が50万円以上かつ耐用年数が1年以上の物品を指します。

（注2）計上にあたっては、以下の点に留意してください。

* 人件費・謝金の合計は原則として、全開発期間で直接経費の総額の50％以内とします。これを超える場合は表外にその理由を記載してください。
* 直接経費の「その他（外注費）」と再委託費の合計は原則として、全開発期間で開発費から間接経費を除いた額の50％以内とします。これを超える場合は表外にその理由を記載してください。

（注3）「その他（その他経費）」は、開発成果の発表費用、機器リース費用等が含まれます。

（注4）間接経費率（直接経費に対する間接経費の割合（％））は0％～30％の範囲の整数で記載してください。各年度一律としますので、用途等をよく検討した上で設定してください。

**＜マイルストーン時期の前後＞**

* 「５ (1)開発目標及びマイルストーン目標」のマイルストーン時期の前後に分けて記載してください。

（単位：千円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分費目 | ～マイルストーン時期20xx年△月 | ～終了 | 合計 |
| Ⅰ物品費 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅱ旅費 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅲ人件費・謝金 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅳその他（外注費） | 0 | 0 | 0 |
| Ⅳその他（その他経費） | 0 | 0 | 0 |
| 直接経費(Ⅰ～Ⅳ)小計 | 0 | 0 | 0 |
| 間接経費（間接経費率●●％） | 0 | 0 | 0 |
| 再委託費 | 0 | 0 | 0 |
| 直接経費・間接経費・再委託費の合計 | 0 | 0 | 0 |

**（3）開発費の使途**

* 「５ (1)開発目標及びマイルストーン目標」のマイルストーン時期の前後に分けて記載してください。

（主な用途）（記載例）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ～マイルストーン時期20xx年△月 | ～終了 |
| Ⅰ物品費 | ～計測装置（○○千円、20xx年度） | ～機器（△△千円、20xx年度） |
| Ⅱ旅費 |  |  |
| Ⅲ人件費・謝金 | 開発員○名（○○千円、20xx年度） |  |
| Ⅳその他（外注費） |  |  |
| Ⅳその他（その他経費） |  |  |
| 再委託費 | ～測定 再委託（○千円、20xx年度） | ～測定 再委託（△千円、20xx年度） |

**１０　事業化に向けた計画**

* 本開発が終了した後の、事業化に向けた計画について記載してください。
* 本項目は、主に選考の観点「f.事業化の可能性」に対応しています。

**（1）ターゲット市場の情勢**

* 技術シーズを基にした製品・サービス（本開発成果を用いて最終的に目指す製品・サービス。以下、「本製品・サービス」という。）が狙う市場（以下、「ターゲット市場」という。）について、以下の2項目を客観的な情報に基づいて記載してください。
1. ターゲット市場の特徴：

ターゲット市場の概要、国内外における規模、展望、リスク等について記載してください。

1. ターゲット市場の競争状況：
市場に既に存在する、今後進出するであろう企業・団体の情報、それらの製品・サービスの内容・特徴を記載してください。

**（2）ターゲット市場における本製品・サービスの位置づけと競争優位性**

* ターゲット市場における、本製品・サービスの位置づけと競争優位性について、以下の2項目を具体的に記載してください。
1. 本製品・サービスの位置づけ：
ターゲット市場において、本製品・サービスの強みが発揮できるための戦略等を記載してください。
2. 本製品・サービスの競争優位性：
(1)のB）で記載した企業・組織の製品・サービスと比較して、本製品・サービスがそれらを凌駕できる理由を記載してください。

**（3）社会実装に向けたプロセス**

* 本製品・サービスの社会実装に向けて、開発終了後に必要な２つのプロセスについて、それぞれ具体的な計画、手段を記載してください。必要に応じて図表・画像を使用してください。
1. 顧客に提供できる製品・サービスにするプロセス
2. 本製品・サービスを収益化できる事業にするプロセス

**（4）知的財産戦略**

* 本製品・サービスの事業優位性を確保するための知的財産戦略を、必要に応じて図表・画像を用いて、具体的に記載してください。

**（5）損益計画**

* 開発終了後10ヶ年の損益計画を、以下の表に記載してください。
* **なお、本項目では、本製品・サービス単独での事業収支を記載してください（他の製品・サービスの事業収支を含まずに記載してください）。**

＜開発終了後10ヶ年の販売等による損益計画＞

　（単位：千円。ただし販売数のみ実数。）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 開発終了時 | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 | 7年目 | 8年目 | 9年目 | 10年目 | 合計 |
| 開発費（注1）（うちJST支出額） | △△△△△（○○○○） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 売上高 | － |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 売上原価 | － |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 売上総利益 | － |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 販売費、一般管理費等の主な支出（注2） | － |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 営業利益 | － |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 税引前純利益 | － |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 販売数 | － |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（注1）「開発費」は、本製品・サービスに関して本制度の開発終了後にさらなる追加の開発を行う場合には、その開発費（予定）を記載してください。

（注2）「販売費、一般管理費等の主な支出」は、例えば、開発実施企業の実績比率（例えば売上高に対する比率）により算出してください。

**１１　開発実施企業に関する情報**

＜概要＞

|  |
| --- |
| **20xx年xx月xx日 現在** |
| 企業名 | ●●株式会社 | 設立年月日 | 20yy/mm/dd |
| 上場有無 | 有･無 | 上場年月市場名証券コード | 20●●年●●月●●●●●●● |
| Webサイト | https:// |
| 本社所在地 | ○○県○○市○○町○丁目○番○号 |
| 工場所在地 | 本社工場（○○市）、□□工場（□□市）* 無い場合には「無し」と記載してください。
 |
| 研究所所在地 | 本社研究所（○○市）* 無い場合には「無し」と記載してください。
 |
| 代表者名 | 代表取締役　○○○○ |
| 役員数 |  | 名 | ( |  | 名[技術系役員] | ) | 資本金 |  | 百万円 |
| 従業員数（注1） |  | 名 | ( |  | 名[技術系要員] | ) |
| 主要株主 | ○○○○（　　％）、□□□□（　　％）、△△△△（　　％） |
| 主要取引銀行 | ○○銀行△△支店、□□銀行▽▽支店 |
| 主要関係会社 | 株式会社○○○○（販売会社） |
| JST等との関係 | * JSTあるいは官公庁、公益法人等から受託研究、補助金等の実績があれば、主なものについて記載してください。
 |
| 事業内容 | ○○○○、□□□□の製造及び販売、△△△△の受託研究開発 |
| 開発能力（注2） | 業種 | 業種表から選択（主な１つ） | 研究開発分野 | 研究開発分野表から選択（主な１つ） |
|  |
| 開発実績 |  |
| 経営状況と見通し |  |

（注1）従業員数には役員数を含めないでください。

（注2）「開発能力」における業種、研究開発分野は、公募要領の最終ページ「企業の業種表及び研究開発分野表」より主なもの１つをそれぞれ記載してください。

＜財務情報＞

* 財務情報は直近3期分を記載してください。3期に満たない場合は有る分だけ記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 決算期項目 | 20xx 年00月期 | 20xx 年00月期 | 20xx 年00月期 |
|  | 指数 |  | 指数 |  | 指数 |
| 財政状態 | 資本金 | A | 百万円 | 100 | a | 百万円 | a/A×100 | a’ | 百万円 | a’/A×100 |
| 自己資本 | B | 百万円 | 100 | b | 百万円 | b/B×100 | b’ | 百万円 | b’/B×100 |
| 総資産 | C | 百万円 | 100 | c | 百万円 | c/C×100 | c’ | 百万円 | c’/C×100 |
| 経営状態 | 売上高 | D | 百万円 | 100 | d | 百万円 | d/D×100 | d’ | 百万円 | d’/D×100 |
| 経常利益 | E | 百万円 | 100 | e | 百万円 | e/E×100 | e’ | 百万円 | e’/E×100 |
| 当期利益 | F | 百万円 | 100 | f | 百万円 | f/F×100 | f’ | 百万円 | f’/F×100 |
| 財務比率分析 | 自己資本比率 | B/C | ％ | b/c | ％ | b’/c’ | ％ |
| 経常利益率1 | E/D | ％ | e/d | ％ | e’/d’ | ％ |
| 経常利益率2 | E/C | ％ | e/c | ％ | e’/c’ | ％ |
| 研究開発費 | G | 百万円 | g | 百万円 | g’ | 百万円 |
| (研究開発比率) | G/D | ％ | g/d | ％ | g’/d’ | ％ |
| 特記事項 |  |

＜設定を予定している担保又は保証の内容＞

* 公募要領の通り、「開発開始時に開発費総額の10％に相当する担保又は保証を設定できること」が必要です。設定を予定している担保又は保証の具体的な内容を記載してください。

|  |
| --- |
| 例：　○○が保有する現預金、○○株式会社の保証 |

＜企業の開発終了後10ヶ年の損益計画＞

* 開発終了後10ヶ年の損益計画を、以下の表に記載してください。
* **なお、本項目では、企業全体の収支で記載してください。また、本項目のみに「JST返済予定額」という欄があることに留意してください。**

**＊企業が複数の製品・サービスを有する場合には、「１０　(5)損益計画」にて記載した、技術シーズを基にした製品・サービスに関する事業収支とともに、それ以外の製品・サービスに関する事業収支を足し合わせて記載してください。**

**＊企業が単独の製品・サービスのみを有する場合には、「１０　(5)損益計画」にて記載した事業収支の内容を転記してください。**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 | 7年目 | 8年目 | 9年目 | 10年目 | 合計 |
| 売上高 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 売上原価 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 売上総利益 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 販売費、一般管理費等の主な支出（注1） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 営業利益 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 税引前純利益（注2） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| JST返済予定額 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（注1）「販売費、一般管理費等の主な支出」は、例えば、開発実施企業の実績比率（例えば売上高に対する比率）により算出してください。

（注2）「税引前純利益」は、「JST返済予定額」を除く営業外損益・特別損益によって算出してください。

**１２　研究開発費の応募・受入等の状況・エフォート**

* 現在受けている、あるいは応募中・応募予定の国の競争的研究費制度やその他の研究助成等（民間財団、海外機関を含む）、企業からの受託研究・共同研究について、研究開発課題毎に研究開発課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォート等を記載してください。記載にあたっては、公募要領「4.2 不合理な重複・過度の集中に対する措置」を参照してください。
* 開発管理責任者、開発主担当者、及び再委託参加者それぞれについて記載してください。必要に応じて表を追加してください。
* 応募中の研究開発課題は全て採択される前提でエフォート全体を合計100％にして記載してください。
* なお、研究費に関する情報のうち秘密保持契約等が交わされている共同研究等に関する情報については、産学連携等の活動が委縮しないように、個別事情に配慮して以下の通り扱います。
* 応募された研究開発課題が研究費の不合理な重複や過度の集中にならず、研究開発課題の遂行に係るエフォートを適切に管理できるかどうかを確認するために必要な情報のみ（原則として共同研究等の相手機関名と受入れ研究費金額及びエフォートに係る情報のみ）の提出を求めます。
* ただし、既に締結済の秘密保持契約等の内容に基づき提出が困難な場合等、やむを得ない事情により提出が難しい場合は、相手機関名と受入れ研究費金額は記載せずに提出いただくことが可能です。なお、その場合においても、必要に応じて所属機関に照会を行うことがあります。
* 所属機関に加えて、資金配分機関や関係府省間で情報が共有される場合もありますが、その際も守秘義務を負っている者のみで共有が行われます。

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | ○○　○○（開発管理責任者） |
| 応募中・実施中の資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名（研究代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 2023年度の研究費（当該研究者への配分額のみ） | 応募・実施状況（応募中の場合は、その結果判明予定時期） | 本提案との相違点及び他の研究費に加えて本提案を行う理由 | エフォート(％) |
| A-STEP実装支援（返済型）（2023～20xx年度） | 【本提案】 |  | 千円 | 応募中 |  |  |
| （20xx～20yy年度） |  |  | 千円 | 応募中（2023年3月） |  |  |
| その他業務・活動のエフォート |  |
| エフォート合計 | 100 |

**１３　関連文献リスト**

* 「３　技術シーズ」において言及した知的財産権・文献名等について記載いただくための項目です。
* 知的財産権について記載する際に、特許権又は特許（出願中）の場合は、特許番号（又は公開番号、出願番号）・発明者・発明の名称・特許権者（又は出願人）の状況を記載してください。他の知的財産権についても同様の考え方で記載してください。
* 論文の場合は著者、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ・発表年を記載してください。
* なお、技術シーズは本リストに再度記載する必要はありません。

**＜参考文献（技術シーズの説明に引用した知的財産権・論文）＞**

・参考文献1：○○○○○・・・

・参考文献2：○○○○○・・・

**＜比較文献（競合技術との比較説明に引用した、競合技術の知的財産権・論文）＞**

・比較文献1：○○○○○・・・

・比較文献2：○○○○○・・・

**１４　専門用語等の説明**

* 本提案書内で使用している業界用語、専門用語及び略語等の特殊用語のうち、本提案を総合的に把握する上で必要と思われるものについて、分かりやすく簡潔に説明してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 用語 | 説明 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

**１５　法令等の遵守に係る申告**

* 法令・指針等に基づく手続きが必要な研究開発が含まれている場合に、法令・指針等に基づき適切な措置が講じられているか（今後講じられるか）等について確認するための項目です。

（例）個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査(個人履歴・映像を含む)、提供を受けた試料の使用、人の活動を制御した上でのデータ採取、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験、等

* 「該当する」「該当しない」いずれかのうち、当てはまるものを塗りつぶしてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 上記の研究開発 | □　該当する　・　□　該当しない |
| ・上記で「該当しない」を選択した場合には、以下の記載は不要です。・上記で「該当する」を選択した場合には、以下の内容を1ページ以内で記載してください。必要に応じて枠を広げてください。(1)対応すべき法令・指針等の名称* 本開発と関連する法令・指針等の名称を記載してください。

(2)講じるべき措置と対応状況* (1)の法令・指針等との関係、講じるべき措置、その対応状況（承認状況や見込みを含む）等について具体的に記載してください。特に問題がないと判断した場合には、その理由等について具体的に記載してください。
 |

**１６　利益相反マネジメントに係る申告**

* 公募要領「2.8.3　利益相反マネジメントの実施」に基づき、申告していただくものです。申告に際しては、必ず該当箇所を確認してください。
* 以下それぞれについて、「該当する」「該当しない」のうち、当てはまるものを塗りつぶしてください。

**（1）開発管理責任者等と再委託先との関係について**

開発管理責任者等と再委託先との関係について、以下の通り申告します。（再委託先が無い場合には、「該当なし」を塗りつぶしてください。）

□　該当無し

□　該当有り（該当有りの場合は以下の表に具体的な内容を記載してください）

* 開発管理責任者、開発主担当者（以下、「開発管理責任者等」という。）と再委託先との関係が、定義a～iに該当するか否か、申告してください。

（定義）

1. 開発管理責任者等（これらの配偶者及び一親等内の親族含む）の研究開発成果を基に設立した機関。（直接的には経営に関与せず技術顧問等の肩書きを有するのみの場合、株式を保有しているのみの場合を含む。）
2. 開発管理責任者等（これらの配偶者及び一親等内の親族含む）が役員（CTOを含み、技術顧問を含まない。）に就任している機関。
3. 開発管理責任者等が株式を保有している機関。
4. 開発管理責任者等が実施料収入を得ている機関。
5. 開発管理責任者等（これらの配偶者及び一親等内の親族含む）を再委託参加者に含む機関。
6. 開発管理責任者等と大学、国研等の研究機関において同一の学科、専攻等又は同一の企業に所属している者を再委託参加者に含む機関。
7. 開発管理責任者等と緊密な共同研究を行う者を再委託参加者に含む機関。
8. 開発管理責任者等と密接な師弟関係あるいは直接的な雇用関係にある者を再委託参加者に含む機関。
9. 開発管理責任者等の研究開発課題と学術的な競争関係にある者又は市場において競争関係にある企業に所属している者を再委託参加者に含む機関。

|  |  |
| --- | --- |
| 利害関係を有する再委託先 | 該当する関係性（定義a～i） |
| 氏名 | 所属機関 | 役職 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 当該先への再委託が必要な理由 | ○○○○：◆◆◆◆： |

* 定義a～iに該当するか否か判断が難しい再委託先がある場合や、定義a～iの関係とは異なるものの第三者から疑義を招く恐れがあると懸念される再委託先等がある場合には、以下の表に具体的な内容を記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 利害関係が懸念される再委託先 | 関係性の概要 |
| 氏名 | 所属機関 | 役職 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 当該先への再委託が必要な理由 | ○○○○：◆◆◆◆： |

**（2）JSTの出資先企業について**

* JSTの出資先企業の一覧は以下の通りです。
<https://www.jst.go.jp/entre/result.html>
* 申告基準日は応募相談開始日とします。出資が終了している企業は該当しません。また、出資内定済み等であるものの基準日時点で公表されていない企業について申告の必要はありません。最新の公表情報は以下を参照してください。
<https://www.jst.go.jp/entre/news.html>

JSTの出資先企業であるかについて、以下の通り申告します。

□　該当無し

□　該当有り